

8月5日：外国人投資家の買いを追い風にVN指数は9日続伸

素材セクターの上昇と、外国人投資家がホーチミン、ハノイ市場で合わせて1兆ドンを超える買い越しをしたことを受け、マーケットは前日に続き上昇した。

ホーチミン市場のVN指数は0.81%（10.81ポイント）高の1,345.55ポイントとなった。同指数は朝方強い売りに押され値下がりしたが、その後は買いが入り指数は再び上昇した。

騰落別では262銘柄が上昇し、116銘柄が下落した。しかし出来高は前日比で減少し、売買高は6億3,550万株、売買代金は19兆3,200億ドン（8億4,050万米ドル）超だった。

主に素材、不動産、銀行セクターの大型株がマーケットの上昇を牽引した。

VN30指数は0.97%高の1486.46ポイントだった。

同指数組入銘柄のうち、20銘柄は上昇し、8銘柄が下落、2銘柄は変わらずだった。

ホアファットグループ（HPG）+2.74%とベトナムゴム工業グループ（GVR）+4.19%は、共に値上がり寄与度でトップだった。

ビンホームズ（VHM）、ベトナムバンク（VCB）、VPバンク（VPB）も指数の上昇を支えた。これらは0.91～2.15%上昇した。

他には銀行株の上昇がよく目立った。テクコムバンク（TCB）、モバイル・ワールド・インベストメント（MWG）、アジアコマーシャル銀行（ACB）、軍隊商業銀行（MBB）などが買われた。

ハノイ市場のHNX指数は1.7%高の325.46ポイントで取引を終えた。

売買高は1億5,420万株、売買代金は約3兆9,000億ドンだった。

一方で外国人投資家は両市場（ホーチミン、ハノイ市場）で合わせて1兆1,400億ドンを買った。そのうち、ホーチミン市場で1兆1,000億ドン、ハノイ市場で193億2,000万ドンを買った。

「我々は新型コロナの感染拡大に対してより慎重になっており、感染防止対策は株価上昇の重しとなる可能性がある」（VNダイレクトの最新レポート）

「マクロ経済と経済活動に対する悪影響への懸念から、VN指数は高値から13.7%値下がりした」（同証券会社）

「7月の平均出来高も前月比で12.8%減少した」（同証券会社）

「しかし、外国人投資家の投資資金流れは良好だ」（同証券会社）

先月、外国人投資家はマーケットで約4兆6,000億ドンを買い越し、特にFubon FTSE ベトナムETFといった上場投資信託（ETF）に投資資金が流入した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。